

「小狐丸」は福井にあった?! —なぜの名刀さがし—

開催要項

1 展示概要

近年、刀剣が大きなブームとなっています。このブームのきっかけの一つは刀剣を題材としたオンラインゲームです。このゲームに登場する刀剣の一つで、非常に高い人気を誇るのが「小狐丸」です。

江戸時代、小狐丸が越前領内に所在するという噂があり、江戸幕府の命令で福井藩が小狐丸を探した結果、それらしき刀剣が発見されました。また、明治時代に入り、松平春嶽（慶永）と小狐丸をめぐるエピソードも残っています。

本展示では、福井と小狐丸のゆかりを示す松平文庫の資料を紹介します。

2 会期・場所

令和2年12月25日（金）～令和3年2月23日（火・祝） 福井県文書館閲覧室

3 主な展示資料

- ・「越前世譜 吉邦様御代 七（33）」 松平文庫（当館保管）
1719年（享保4）11月、江戸幕府が全国で刀工調査を実施。
- ・「越前世譜 吉邦様御代 八（34）」 松平文庫（当館保管）
1720年（享保5）2月、幕府が福井藩に小狐丸の所在調査を行うよう命令。
同年3月、藩内を調査した結果、小狐丸と思われる刀剣が発見される。
同年4月、8代将軍徳川吉宗に福井藩で発見された小狐丸が差し出される。
- ・「国事叢記 五（正徳1～享保5）」 松平文庫（当館保管）
1720年（享保5）4月、小狐丸の件で御徒の原田与二右衛門らが江戸に派遣される。
- ・「越前国古今名蹟考 六 足羽郡下」 松平文庫（当館保管）
小狐丸と思われる刀剣が発見された安波賀春日神社（福井市）の由緒と境内図を掲載。
- ・「正二位慶永公御著述真雪草紙」 松平文庫（当館保管）
1877年（明治10）、春嶽は小狐丸について九条家の当主九条道孝から相談を受ける。